

第2回 小学校教育フォーラム

小学校教師のための実践力ステップアップ講座

2011年8月6日(土)

2010年度の「第1回教育フォーラム」は、新学習指導要領の全面実施を目前にした現場の先生方を対象に「新しい教科書で、何をどう教えるか」というテーマで行いました。

2011年度は、学習指導要領全面実施後に新しい教科書を手にし、実際に教えていく中で起きた混乱への対処法と、授業を進めていく上でのポイントを提示していくことを中心にしたものである。

また、子どもへの対応や学級づくりで困っている先生方に、その対処法を共に考えていく内容となっている。

まず最初に、本学教員の佐藤先生から「授業の見直しポイント」についての話があり、続けて増田先生から学級づくりのポイントについての話があった。

その後、成田先生の「ゲーム・携帯」について、栗原先生の「理科の授業」についての選択講座があり、午前中の講座が終了した。

午後のはじめには、増田先生の「国語の授業」について、佐藤先生の「社会科の授業」についての選択講座があった。

そして最後に、汐見学長から「教育にとって、今大事なこと」という演題での講演会があった。

参加者の感想を読むと、「実践的なことから教育に関する講演までとても勉強になった」「現場の事例をあげての話が多かったので、自分の学級の様子を思い浮かべながら話を聞くことができました」「日々の授業を見直していくことの重要性を改めて感じました」「新しい教科書への対応、転換する授業観など、とても役立ちました」といった肯定的な記述が非常に多く、現場の先生方には

好評であったことが伝わってきた。

特に、「理論と実践をつなげた話」を中心とすることを、心がけたことが、好評であった大きな要因となっている。

また、「現職が気軽に学べるこういう場がもっと増えていけば良いのと思います。日々の業務に忙殺され、本当にわかる授業を自分はしているのかという思いで一杯です。ぜひとも継続してフォーラムを開催して下さい」という感想からは、日々の学校生活に追われ、なかなか自分の力量を高めていくことが出来ないジレンマを感じることが出来ます。

2011年度の「第2回 小学校教育フォーラム」の定員は100名であったが、申込者数が7割、参加者数が6割と、定員に満たなかったのが非常に残念であった。内容的には充実していたように思われるのだが、まだまだ白梅学園大学の小学校教育課程への認知度が低いように思われる。

これからは、様々な機会やチラシ等を通して、白梅学園大学小学校教育課程の認知度を高めていくと同時に、より魅力ある講座を開催していく必要性がある。そして、現場の先生方に研究成果を伝えていくことを通して、地域への還元をしていく必要があるのではないだろうか。それがひいては、白梅学園大学卒業後に小学校教員になった卒業生への大きなエールにつながるはずである。

担当：子ども学科 増田修治

プログラム

小学校教師のための実践力ステップアップ講座

1, 「あなたの授業を見直してみよう！」

白梅学園大学子ども学部教授 佐藤 正志

2, 「子どもが育つ学級作りのポイント」

白梅学園大学子ども学部准教授 増田 修治

3, 選択講座

- ・ 選択講座① 「ゲーム・携帯との付き合い方を考えよう」

白梅学園大学子ども学部教授 成田 弘子

- ・ 選択講座② 「『子どもがわかる理科』の授業デザイン」

白梅学園大学子ども学部講師 栗原 淳一

4, 選択講座

- ・ 選択講座③ 「国語の文学教材をどう読むか？」

～児童自らが学ぶ国語の授業方法～

白梅学園大学子ども学部准教授 増田 修治

- ・ 選択講座④ 「考える力を育てる社会科」

白梅学園大学子ども学部教授 佐藤 正志

5, 「教育にとって、今大事なこと」

～子どもをどう見るか～

白梅学園大学学長 汐見 稔幸